

南あわじ市保育所のあり方検討委員会(第3回) 議事【要旨説明】

日 時 平成 25 年 10 月 23 日(水)午後 7 時

場 所 南あわじ市役所緑庁舎 第 2 会議室

1 開 会

2 あいさつ

委員長

前回のアンケート調査内容で指摘のあった部分を修正・変更していますので、その内容についての再検討と幼保一体化（認定こども園）についての説明を谷村委員よりご教授頂きます。

3 議 事

アンケート調査(案)について

委員長

事務局からアンケート調査内容の修正説明をお願いいたします。

事務局

修正個所の説明をおこなう。

委員長

確認したいところがあれば、お願いいたします。

委員

問 2 でお子様の年齢を聞いていますが、2人以上の児童が入所している場合、上か下かどちらのお子様の年齢を記入するのか。

事務局

上のお子様の年齢を記入して頂くよう、明記します。

委員

民営化の質問で、公立・私立のどちらが良いか等の質問がなく、いきなり民営化の具体的な部分を聞かれても、保護者目線に立った質問ではないのではないか。

事務局

質問内容について、再検討します。

委員

保護者の立場から見ると、このアンケートに答えることによって、行政が何をしようとしているのかが分からず、不安になる部分がある。もし、市が民営化を進めていきたいのであれば、民営化のメリットをもっと簡潔に記載すべきではないか。

事務局

財政健全化計画に基づき、民営化を進めているのは事実です。

委員

西淡地域では、幼稚園を認定こども園にしていこうとする話がありましたが、現状は、教育委員会の方も、保育所の今後の方向性を見極めた上で、動こうとしているように見える。また、平成27年度の統合の話も出ているが、保護者としては、良いもの（施設）が出来れば時期は関係ないと思うので、今、この機会にもっと話し合いをすべきだと思います。

事務局

この委員会は、民営化だけでなく、認定こども園等も含めて議論（検討）出来る場でありたいと考えています。

委員

幼稚園と保育園の中身（内容）に関しては、外目から見ると、何も区別はないが、保護者の立場からすると（実際に子供を預けてみると）違いは見てくる。また、先生方の意識の違いも大きいと思う。

事務局

その点に関しては、市では、保育所・幼稚園間の交流も実施して、少しでも意識の違いを無くせるよう取り組んでいます。

委員

本アンケートでは、民営化への誘導に近いものがあるが、統廃合・民営化・認定こども園の三本柱として、質問を投げかけてみてはどうか。「より良い保育所にしていく為の3つの提案」のような形のようなもの。市（教育委員会・福祉課等）が一丸となって、今後の方針を考えていくと

いう考え方はないのでしょうか。

事務局

子ども子育て会議にて考えていく内容であり、本委員会は、あくまでも保育所の今後のあり方を検討する場です。

委員

子ども子育て会議でもアンケートがあると思うが、同じような内容では駄目だと思います。問12に対して、質問が多すぎるので、もっと精査してほしい。問13に対しては、答えが決まってくると予想されるので、不要だと思います。

事務局

アンケートの集計について、全保護者対象とすると、1,000件を超えるので、60人以下の施設に対しては、全保護者を対象とし、60人を超える施設は、1/2の保護者を対象として、抽出件数約600件となります。それとも全保護者対象としますか。

委員

全保護者でお願いいたします。

委員長

全保護者対象でいきましょう。お願いします。

本日は、委員の皆様から出た意見を踏まえた上で、副委員長・事務局と私で再度整理し、出来上がり次第、委員の皆様へ送付します。今後のスケジュールを考慮すると、11月初旬には、アンケートを配布する形になります。

認定こども園制度について

委員長

認定こども園制度について、谷村委員から説明をお願いいたします。

谷村委員

資料及びスクリーンにより制度説明をおこなう。

委員

内容に関しては分かりやすかったのですが、認定こども園の問題点が分からなかった。

副委員長

理念上、財政上及び運営上の問題等があるが、どのようにお考えか。

谷村委員

理念上や運営上の問題は、現在の制度では、ほぼ改善されていると考えられる。しかしながら、財政上の問題は、消費税率の増税だけでは、賄えないのも事実であり、この点が、最大の問題点だと思う。

その他

委員長

次回の委員会日程ですが、事務局の方からお願いします。

事務局

アンケート調査の集計、分析には日数を要しますので、年末か、年明けには、とりあえず、速報値を示すことはできると思いますので、開催候補日を2日ほど、提示願います。

委員長

アンケートの集計結果をみて、第1候補は平成25年12月27日、第2候補は平成26年1月14日のどちらかで19時といたします。

4 閉 会

委員長

それでは、閉会を副委員長からお願いいたします。

副委員長

市の方向性について、大きく決まってくるような気がしますので、慎重に協議しなければならないと思います。将来を担う子ども達にとって、これが良いことなのか、そのあたりを中心に、今後とも協議願います。今日はどうもありがとうございました。